

11/1(木)

市内スーパーでマイバッグをPR

「夢空間」の店内特設会場で、マイバッグ・キャンペーンソング「お買い物にはマイバッグ」のライブが行われました。店の協力により音響設備やスペースの確保、広告への掲載などもあり、たくさんの方がつめかけました。

ライブには、「マイバッグ音楽隊（本市職員・野中英樹さん一家）」と、菊池さくら保育園のさくら組の園児18人、菊池市マイバッグ運動推進市民会議のメンバーが参加しました。マイバッグ音楽隊の歌声と、園児たちが練習してきた歌と振り付けをかわいく披露する姿に、買い物客は足を止め、一緒に手拍子をしながら聞いていました。

皆さんも、環境保護や子どもたちの見本となるためにも、買い物の際には、身近で簡単に出来るマイバッグを持参しましょう。



店内ライブで「マイバッグ」を呼びかける「マイバッグ音楽隊」と「菊池さくら保育園」の園児、「菊池市マイバッグ運動推進市民会議」のメンバー

11/4(日) 泗水秋まつり(孔子まつり・コスモスマラソン・農業まつり同日開催)

爽やかな秋空のもと、泗水秋まつりが孔子公園でありました。昨年に続き「しずいコスモスマラソン大会」「孔子まつり」「農業まつり」が同時開催されました。

マラソン大会には、市内外から477人が出場し、孔子公園横をスタートした選手たちは、3キロ、5キロ、10キロの部にそれぞれ分かれ、合志川河川敷に咲いたたくさんのコスモスを眺めながら健脚を競いました。また、友好都市である韓国金堤市のキム・ヨンヒョンさんなどの招待選手も出場し、国際交流の輪も広げました。

午後からは、玄海竜二さんによるゲストショーをはじめ、養生米による米釣り大会や祭孔大典原曲をアップテンポにアレンジした曲にあわせてのダンスコンテストがあり来客者を沸かせました。

同園の祀聖亭(しせいいてい)周辺であった「祭孔大典」では、色鮮やかな衣装を身にまとった舞生の踊りや、中国古来の楽器を奏でる楽生の演奏などを、地元中学生生徒など59人が披露し、来場者を魅了しました。

終日、会場では地元農畜産物の販売やJAの各部会の展示販売、スケッチ大会、フォトコンテストがあり、たくさんの方が賑わいました。



- ① 1km付近を走るランナー
- ② 祭孔大典
- ③ 養生米釣り
- ④ ダンスコンテストでグランプリを受賞した「むつみ会 泗水支部」
- ⑤ 孔子公園書道展の入選者

11/2(金)

菊池市の酪農家3人が全日本ブラックアンドホワイトショーへの出品を報告

菊池市で酪農を営む森浩一郎さん、梁池健次郎さん、石本幸一さんの3人が第7回全日本ブラックアンドホワイトショーへの出品の報告に訪れました。福村市長が「経営が難しくなってきたり、厳しい状況ですが大会で活躍し、これぞ菊池の牛と紹介してください」と激励しました。

大会は4年に1度行われているもので、11月12日(月)・13日(火)に静岡県で開催されました。約200頭が出品(うち熊本県からは13頭が出品)され、審査の結果、石本幸一さんが第2部首席を受賞しました。受賞おめでとうございます。



出品の報告に訪れた3人。右から森さん、梁池さん、石本さん

10/28(日) 小川子ども会が県優良子ども会として表彰



小川子ども会のメンバーと保護者

熊本城築城400年祭「奉行丸ステージ」広場で、平成19年度第45回熊本県子ども会大会が開催され、菊池市子ども会より「小川子ども会(旭志支部)」が表彰されました。熊本県子ども会連合会が主催して毎年行っているもので、地域で健全な子ども会活動につとめ、優秀な成績をあげている子ども会に対して、今後における活動の振興を図ることを目的に「優良子ども会」として表彰しています。今回、菊池市子ども会育成協議会々長が小川子ども会を推薦し、表彰されたものです。

小川子ども会では地域の皆さんと協力して県道沿いの「あじさい街道」の手入れを行うなど、積極的な活動を行っており、その取り組みが評価されました。同会の今後益々の活躍が期待されます。

10/27(土) しずいっ子童話会が紙芝居「増田敬太郎物語」を初披露

ボランティアグループ「しずいっ子童話会(前田和子会長)」が、故増田敬太郎巡査の生涯を描いた紙芝居「増田敬太郎物語」を完成させ、「としょかんまつり」で初披露しました。紙芝居は会員手書きによる水彩画14枚からなり、物語は親族から聞き取った内容などが子どもにも分かる言葉でまとめられています。会場には子どもたちや親子連れなどが訪れ、初めて見る紙芝居を熱心に見ていました。

●故増田敬太郎さん(明治2年-明治28年)

故増田巡査は明治2年(1869年)8月、当時の泗水村に生まれました。幼い頃から進んでみんなの役に立つことを考え、世のためになる仕事をしたいと、明治28年に佐賀県の警察官となり、すぐにコレラが蔓延する当時の入野村高串地区(現唐津市)に赴任しました。防疫や患者の遺体運搬に不眠不休で働き、自らも感染し、増田巡査が警察官となった7日目、この地に赴任して4日目に25歳という若さで亡くなりました。その後、増田神社ができ、夏には盛大な祭が行われ、今でも住民にその偉業が語り継がれています。



「としょかんまつり」で「増田敬太郎物語」を初披露する、しずいっ子童話会のメンバー

10/25(木)~10/29(月) 「菊池市海外研修生の会」事業実施報告

菊池市海外研修生の会の派遣事業として、菊池市内で公募した5人の派遣団員が韓国を訪問し、ソウル外国語アカデミーの生徒さん宅でホームステイをしながら、歴史、文化、自然などを学んで来ました。

また、招待事業として11月1日(木)から11月4日(日)まで、アカデミーから李英修(イ・ヨンス)さん、李和蓉(イ・ファヨン)さんの2人を菊池市へ招き、同様にホームステイをしながら交流をしました。滞在中2人は、菊池市長を表敬訪問し「日本の文化と心に触れてみたいです」とあいさつ。その後、菊池渓谷や阿蘇などの見学や、日本の文化体験、歴史について学び、菊池市文化祭にも参加しました。



韓国を訪問した5人の派遣団員(ソウル市内にて)



福村市長を表敬訪問した2人

菊池市海外研修生の会は、菊池市における国際交流の草の根的な役割を担っている団体です。この会では、韓国のソウル外国語アカデミーと相互交流を行っており、民間レベルでの交流が実現しています。交流は今年で23年目を迎え、双方の友好がさらに深まり、非常に有意義な事業が展開されています。